

# 第2学年 英語科学習指導案

〔NEW HORIZON English Course2〕

単元名 Unit2 What is local food?

場所 : 2年5組教室

学級 : 大野町立大野中学校

2年5組 (29名)

授業者:

ALT : Camille PERRIER-FERLAND

## 1. 指導の立場

### (1) 単元について

中学校学習指導要領解説外国語編に示されている、本単元における指導内容は以下の通りである。

話すこと〔発表〕
イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
思考・判断・表現力等
オ(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

本単元では、日本や外国の料理についての食文化の歴史や変化が扱われている。自分達の地域の食文化やご当地グルメについて考え、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて説明できるようにさせたい。言語材料としては、when, if, because, that などの接続詞が扱われている。

本時では、ALT の先生に自分達のご当地グルメをより楽しんでもらうために、情報やイチオシの理由についての考えを整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて発表することができる。自分達の中では当たり前だと思っているご当地グルメの説明を、ALT の先生にどのように伝えるとより魅力が伝わるかを考え、ペアや小集団でのやりとりを経て、ALT の先生に自分達の考えや意見などを加えたうえで、ご当地グルメの伝え方を考える。

### (2) 生徒の実態

ALT との最初のあいさつでは多くの生徒が大きな声で話すことができおり、学級全体に安心して英語を話す雰囲気を作ることができる。しかし、ペアでの対話活動や自分の思いや考えを話す活動になると、英語を話すことに抵抗感が出てしまう場面が見られる。

Unit1 では、休日を楽しんでもらうために、どのよ

うにすると楽しめるかを英語で考え、ALT に伝える活動を行った。既習事項や単元の中で出てきた表現などを見直したりすることで自分の考えをより具体的に話せることを理解した。

本単元でも今まで学習してきた表現を使って、ALT に自分達のご当地グルメを伝えることで、自信をもって英語を話せる生徒を育成したい。

## 2. 研究との関わり

英語部では、できるだけ多くの対話活動を通して、相手に自分の考えや思いを伝えるにはどのような表現を使うとよいか自分で選択して話せる生徒を育てたいと考えている。さらに英語の学びを通して、話す目的や場面、状況に応じて、相手に分かりやすく伝えようとする事ができる生徒を育てていきたい。

### 【研究内容1】について

ALT の先生が一番食べたいと思えるご当地グルメを紹介する活動を入れる。小集団をつくり一人ずつ紹介をし、聞く人にはどちらのグルメを食べたいか、判定してもらい。その時にどの表現を使うとより魅力が伝わるか、どうすると自分の発表がより詳しくなるかを小集団で考える。その後、交流した表現からさらに自分がより加えたい表現を選択し、自分の発表をよりよくすることができると思う。

### 【研究内容2】について

ALT の先生が一番食べたいと思えるご当地グルメを紹介する中で、本時の最初では、単元で学習してきた表現を使用し、紹介をする。その後小集団をつくり、仲間との交流を通して、自分の英文をより魅力あふれるものにしていく。本時の最後には、最初に話したペアの子に自分が考えた英文を伝え、アドバイスをもらうことで、授業で積み上げた成長を実感することが、生徒一人一人の学びを深めることにつながると考える。

### 3. 単元構造図(全12時間)

#### 【単元のねらい】

身近な日本の食文化を読み取る活動を通して、自分達のご当地グルメを発信するために、自分達のご当地グルメの特徴についての考えを積み上げたり、情報を伝えるために語句や表現を身に付けたりすることができる。

#### 【単元のはじめの生徒の意識】

自分達のご当地グルメがあることは知っているものの、その特徴をどうするとより相手に分かりやすく伝わるだろうか、またその情報をどのような語句や表現を使うとよいだろうか。

#### 【①②好きな食べ物の紹介】 課題：アンの好きな食べ物の特徴は何だろう。

<ねらい>

アンのスピーチからアナの好きな食べ物の特徴を読み取ることができる。(知・技)(主体的)

<生徒の意識>

ただ、好きなものを紹介するのではなく、単語や接続詞に気をつけることでより詳しく相手に説明することすることができた。

#### 【単元を貫く課題】

日本や世界のご当地グルメの歴史や広がりを理解する。

#### 【③④好きな食べ物について知っている情報を伝えよう】

課題：アンと純の対話から、純はラーメンについてどんなことを話しているだろうか。

<ねらい>

アンと純の対話から、純がラーメンについてどんな情報が付け加わったか読み取ることができる。(知・技)(主体的)

<生徒の意識>

アンの好きな食べ物の情報が純によって、種類があることや食べ方があることが付け加わってより詳しくなった。

#### 【⑤⑥好きな食べ物について調査して分かったこと】

課題：ラーメンについてガイドブックではどんなことが紹介されているか読み取ろう。

<ねらい>

さまざまな料理について理解を深めたり、知っていることを伝えたりするために、料理について書かれた文章から事実や考え、理由などを読み取ったり、自分から伝えたりすることができる。(思・判・表)

<生徒の意識>

好きな食べ物だけ言っていたアンがガイドブックを読んだことで新たに種類があることに気付いた。種類が増えたからこそ、よりそれぞれの違いを伝えるために特徴を理解したうえで語句や表現を適切に使用しなくてはいけないと分かることができた。

#### 【⑨⑩好きな食べ物を調べることを通して考えたこと】

課題：純がラーメンを通して考えたことの中でどんなことが興味深いと感じただろうか。

<ねらい>

料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを話したりかいたりすることができる。(思・判・表)

<生徒の意識>

純の発表からスパゲッティからナポリタンができたことが分かり、身の回りにはあるいろんな食べ物も実はつながっているのではないだろうかと思えることができた。

#### 【⑪⑫自分達のご当地グルメの紹介】

課題：カミーユ先生が一番食べたいと思えるご当地グルメを紹介する表現を考えよう。

<ねらい>

ALTの先生のために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて紹介することができる。(思・判・表)(主体的)

<生徒の意識>

紹介することによって改めて自分達が当たり前と思っていた食べ物でも海外の方からすると魅力あるものだと思えることができたし、そこにはそれぞれの地域柄や独自の文化があることが理解できた。

課題：ALTの先生に自分達のご当地グルメを紹介し、気に入ってもらおう。

#### 【単元出口の生徒の意識】

自分達のご当地グルメを紹介するためにも、色んな歴史や文化を紹介することも魅力を伝える上では大切であるということを理解することができた。

ねらい ALTの先生のために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて紹介することができる。

	主な学習活動	指導・援助
導入	<p>1:ALTの先生から問題提起をする。</p> <p>JET: Do you remember “Camille’s favorite food in Gifu?”</p> <p>A: I think goheimochi is Camille’s favorite.</p> <p>JET: Why do you think so?</p> <p>A: Because she said, “I like miso and rice.”</p> <p>JET: OK. I see. Let’s check.</p> <p>Please give the answer, Camille.</p> <p>ALT: Sorry, I don’t have it now. But I want to learn.</p> <p>Please give me your idea.</p>	<p>3. 前時までに学習してきた表現を使って紹介することで、これまでの学びを実感することができる。【研究内容2①】</p> <p>4. 視点を与えうて聞き取らせることで自分の紹介した英文のどこが良かったか振り返ることができる。【研究内容2】</p>
展開前段	<p>2. 課題をつくる。</p> <p>カミーユ先生が一番食べたいと思えるご当地グルメを紹介する表現を考えよう。</p>	<p>6. 最初にどんなことに困り感があるのかを全体で確認し、それでも分からなかった部分がある生徒についてはヒントカードを提示したり前に来て一緒に考えたりすることで全員が考えをもてるようにする。【研究内容2】</p>
	<p>3. ペアで自分の紹介したい食べ物を紹介する。</p> <p>I like ramen especially Takayama ramen. You can add chashu and corn to your ramen. I enjoy Takayama ramen all year round. Takayama ramen is a very popular food in Japan.</p>	<p>6. 仲間が見つけた表現を共有することで、仲間の表現を参考に自分の紹介したい表現に加えることができる。【研究内容1②】</p>
展開後段	<p>4. (見ていた人が) どちらの発表が良かったか、視点をもとに伝える。 (判断する視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が分かりやすい</li> <li>・情報量が多い</li> <li>・全体を聞いた時にどちらを食べたいと思ったか</li> </ul>	<p>6. 小集団交流でより分かりやすく、魅力を伝えるために工夫できそうな表現に気付くことができる。【研究内容2①】</p>
	<p>5. 4で判定した人が紹介をし、3で紹介した人が判定をする。</p> <p>6. 小集団をつくり、SKY MENUを使って使えるような表現を交流する。</p> <p>A: 前のUnit1でもあったcanを使えば食べると言うことができそうだ。</p> <p>B: この単元で理由を言う時に使えるbecauseを学習したからそれも使えるそう。</p> <p>C: 「自分はこう考える」でthinkもいいんじゃない。</p> <p>D: 教科書のp.24にmade it withがあるから「~を使って作られた」って言いたい場合に使えるんじゃないか。</p>	<p>9. 10. 最初のペアと再度交流することでより魅力あふれる表現になっていたり、説明がより詳しくなっていたりすることを相手から認めてもらうことで自分の学びの深まりを実感することができる。【研究内容2②】</p>
終末	<p>7. SKY MENUや教科書、ノートを見ながら自分の紹介する英文に付け加える。</p>	<p>評価基準【思考・判断・表現】</p> <p>カミーユにぜひ、食べてもらうために、いろんな情報を入れて紹介することでより魅力が伝わるようになった。</p>
	<p>8. 最初のペアで交流する。</p> <p>There are many kinds of ramen. I like ramen especially Takayama ramen. You can add chashu and corn to your ramen. Takayama ramen uses a soy sauce-based soup. I enjoy Takayama ramen all year round. Takayama ramen is very popular food in Japan.</p>	
	<p>9. 相手の発表を聞いて、コメントをする。</p> <p>最初は食べ物だけの説明だったけど、色んな食べ物のつながりやなぜ、生まれたかを入れていたからより一層おすすめの食べ物の説明が詳しくなった。</p>	<p>&lt;目指す生徒の姿&gt;</p> <p>A: 歴史や文化などの情報を入れた状態で最初の英文に3文以上追加して話すことができる。</p> <p>B: 歴史や文化などの情報を入れた状態で最初の英文に2文追加して話すことができる。</p> <p>C: 歴史や文化など、いろんな情報を入れた状態で最初の英文に1文追加して話すことができる。</p>
	<p>10. 自分自身の良さを振り返る。</p> <p>(最初の発表と比べてみると) 最初のときよりも種類が多いことを言えば、たくさんの種類からとくにこれが美味しいんだと伝えることで、興味をもってもらえると思うことができた。</p>	